

<4Q>

No.	講義名	氏名	教員コメント
1	経済学 (S)	河野 善文	ミクロ経済学とマクロ経済学については、他学部履修にりますが、経営学部の専門科目として、ミクロ経済学とマクロ経済学の2科目（1年生の概論の先の内容を学2年生・3年生科目）があります。ぜひ、履修を検討してみてください。
2	経済学 (M・D・A)	小林 大州介	皆さん第4Q、お疲れ様でした。試験で良く取れた方が多く、熱心さがひびきと伝わってきました。ありがとうございます。さて、進め方が早いという指摘につきまして、今後はいろいろな理解を促進する様な工夫をしようかと思えます。改めて、第4Q、お疲れ様でした！
3	英語入門Ⅱ (M)	岡島 徳昭	アンケートによるとテキスト以外の例文に関心があるようで、多くの例文を積極的に取り入れ学生の理解度向上に心掛けたと思います。
4	英語入門Ⅱ (S)	横田 肇	人数が少なくやり易い面があった一方、英語が苦手な受講生がおり、理解と興味関心の評価が低かったのが残念である。一人有意義なコメントを寄せた学生がおり、テキストの説明以外の学習活動、協同学習、スライドの活用等、さらなる工夫と改善に努めたい。また、毎回どちらかと言えば、大人数のクラスの運営に苦心することの方が多いのであるが、少人数のクラスでもまた運営に気配りが必要であると感じた。
5	英語入門Ⅱ (D・A)	宮崎 達也	英会話を中心とした授業は参加しやすく、実際に話す活動が多かったことで楽し学べたという声が多く寄せられた。授業中に単語を調べられる環境や、教員が小さな質問にも丁寧に答えてくれる姿勢が、安心して学べる雰囲気につながっていたようである。スピーキングテストの形式改訂に合わせてくれた点も分かりやすく、準備しやすかったという評価がありました。一方で、学生の進度に差が出る場面もあったため、早く終わった学生向けの追加タスクがあると、より充実した授業になるという意見も見られました。全体として、学生たちは実践的な授業に満足し、英語を実際に使いながら楽しく学べたことがうかがえました。コメント書いてくれた学生のみなさんポジティブな意見ありがとうございました。
6	ドイツ語入門Ⅱ (M)	河田 一郎	授業の満足度を問う設問10で、90%以上が満足をしているとの結果は嬉しいかぎりです。今後も楽しみながら、目標を着実に達成していると実感できる授業を工夫していきたいと思っています。
7	ドイツ語入門Ⅱ (S・D・A)	河田 一郎	授業でやったページを板書してほしいとの件ですが、1Qではページ数を板書していました。4Qではさらに発展させ、板書をよりわかりやすくするために、内容を整理し、チームズ資料にアップしています。元々スベルチェックのために始めたのですが、皆さんが使いやすいように改良していくつもりです。「丁寧でわかりやすかった」というコメントに対して、真実なご指摘もあります。4Qは文法的にも難しく感じたと感じました。どのレベルの学生さんにもわかりやすく、継続して興味を持てるような授業を提供したいと思います。
8	中国語入門Ⅱ	孫 輔	アンケートとコメントがありがたいです。来年もいろんな交流活動を企画します
9	外国語コミュニケーション (M)	岡島 徳昭	学生の理解度に即した授業が展開できるよう心掛けた。
10	外国語コミュニケーション (S)	信濃 吉彦	英語の授業内容に関しては一定の評価をいただきありがとうございます。一方で一部の学生には不快な思いを想起させる言動が在ったようです。誠に申し訳ありません。今後はそのようなことに十分に気を配り、より良い授業としてまいります。
11	外国語コミュニケーション (D・A)	宮崎 達也	授業アンケートへのご協力ありがとうございました。集計の結果、おおむね肯定的な評価をいただいた一方で、単位のための授業という感じだったという意見があり、受講生の中には、意図的に取り組む方がいる一方で、教職の単位取得を目的として履修している方もいて、学習意欲にばらつきがあるのが現状です。こうした多様なニーズに応えられるよう、バランスの良い授業づくりも考えてまいります。
12	日本語Ⅱ	高橋 真弥	ご回答いただきありがとうございます。次年度の授業に反映します。
13	健康科学 (S)	尾西 則昭	授業についての改善のご意見、要望等についてたくさんの内容をいただきありがとうございます。学生からいただいたご意見、要望等について、パワーポの切り替えが早いため、質問等の前置きの話が長かったりありました。また、毎回の振り返りシートでは全学生に共有することによって、他の学生の疑問点を知られたことの評価も頂きました。今後、1つ2つ改善して取り組んでいきます。ありがとうございます。
14	社会保険Ⅱ	上原 正希	全体的な項目を見ると、満足感が高いようで、現状を維持しつつ、改善できるとはしてほしいと思っています。希望として「国家資格の過去問なども取り入れてほしい」ということは取り入れていきたいと思っています。そして、今回についてですが、「試験範囲の詳細の伝達」が少し不十分だったということでも修正していきたいと思っています。貴重な時間をアンケートにさいいただき、ありがとうございます。
15	社会学と社会学シム	松下 守邦	国家試験過去問題の肢問は、社会学用語を日本語で正確に理解、定義したうえで解答する力が求められますので、日本人学生にとっても丁寧な学修が必要でした。過去問題を読み解くためのテキストには一定程度の記述量が不可欠になります。その水準は基礎テキストにおける検定教科書の標準版だけではなく、詳説版も必要になると思っています。指定テキストは詳説版のものでしたが、基礎内容に力点を置く解説本を、Teams上に参考文献として共有しました。留学生による熱心な学修参加もみられました。今後とも授業内容の一層の改善に努めてまいります。
16	児童・家庭福祉	杉本 大輔	コメントが少ない。凡庸な講義の証。猛省する。
17	社会福祉調査の基礎	杉本 大輔	コメントが少ない。凡庸な講義の証。猛省する。
18	西洋美術史Ⅱ	竹内 美帆	多くの学生から「説明がわかりやすい」「資料やスライドが見やすい」「動画を交えた授業が理解しやすい」といった肯定的な評価をいただきました。特に、作品について問いかける時間や考える機会が理解を深める助けになったとの意見もあり、今後も学生の主体的な思考を促す授業方法を継続していきたいと考えています。一方で、理解度の確認や授業進行については、さらに丁寧な工夫が求められる部分もあると受け止めています。来年度は、授業内での小さな確認課題や振り返りの時間を取り入れるなど、より理解度を把握しながら進める工夫を行う予定です。
19	建築シム論	向井 正伸	アンケートへのご協力ありがとうございました。本授業では建築の基礎的知識として、各種構造システムの特徴や部材名称、構造原理について配布資料やスライドを用いて講義を行いました。いただいた意見を参考に、資料の見やすさなどに配慮しながら、より理解しやすい授業となるよう改善していきます。
20	建築構造学Ⅱ	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。理解できた、満足できたの解答が90%と高い評価を得ました。授業後の演習問題はできるだけ丁寧に解説しましたが、理解度の差がありました。板書の文字や赤色のチョークが見づらいとの指摘があり、改善していきます。今後も理解しにくい丁寧な授業に取り組みます。
21	3D-アプレット論	信濃 吉彦	概ね高評価だったようなので安堵しました。今回の履修者は過年度と比べて取り組みはしっかりしていたようだが授業態度に問題のある学生が一定数居ることは情けない。大学生としての自覚と持続はどのあたりで置き忘れてきたのか・・・中高の授業ではないのだから、どこかに楽しみを見出し何か一つでも身に付けて欲しい。これはすべての授業・学生に対する小職唯一の願いです。
22	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	山田 明子	コメントありがとうございます。ご指摘を受けた点のほか配布資料や教材の検討等、より理解が深まるように今後も工夫していきたいと思っています。
23	カウンセリングの理論と方法(専門Ⅳ)(2年)	西野 克俊	授業の満足度については、満足できた以上が100%となっており、一定以上ご満足いただけたのかと思います。コメントにおいて、実際の事例を用いたことにより、興味の上につながったことでも嬉しく思います。今後も引き続き満足いただける授業展開をしたいと思っています。
24	知的障害者の心理・生理・病理	堀川 厚志	全体的に悪い評価項目はなかった。本時で前時の復習に加え、資料は予習副読本が可能なように日付順にTeamsにアップしていた。引き続き、資料の整理と内容構成に配慮して実施したい。
25	社会福祉事業史	小早川・上原	おおむね授業全体は良かったと思います。グループワークも良好、教職課程科目ですが、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験対策にもなることで引き続き良い点は実施していきたいと思っています。貴重な時間をアンケートに使ってくれてありがとうございます。
26	病弱者の心理・生理・病理	千葉 聡美	内容としては病弱者の基本的な疾患の特徴、取り巻く状況について伝えることができた。レポートからも今まで思っていた病弱者と実際はかなり違うことを理解したと思われる。最近YouTube等に患者本人が発信する動画も多く上がっているが、今後も積極的に活用していきたい。
27	社会心理学	松下 守邦	精読技法の解説に加え、受講生の皆さんとテキスト精読練習を組みました。履修学生数に合わせて授業構成を調整しましたが、オンラインにて分班報告をおこなった学生さんもありました。精読技法の解説、テキスト読解演習、分班報告のあり方については、次年度以降も一層充実させていきたいと考えています。
28	障害児保育Ⅱ	坂上 俊樹	受講生全員が、授業内容に興味を抱き、授業内容を理解してくれていることはとてもありがたいことです。しかし、資料の表現についてはさらに工夫の余地がありそうです。また、授業の進め方や授業内容の理解の程度の確認については、より丁寧に行うよう努めます。「障害児・者に対する差別用語を使用している」とのご指摘をいただきました。十分に気を付けているつもりでしたが、申し訳ありません。さらに細心の注意を払って講義します。
29	国際法	細川 光法	概ね満足してもらったようで良かったです。活舌が悪いという意見もありますが、来年度からマイクの使用も考えます。また、授業が途中でほんの少し止まる時は、大げさな理由の中で悪意で選択しているためです。できるだけ適切かつ平易な言葉を使っていますので、今後気を付けます。
30	造形表現Ⅰ	浩而 勉論	4Qという短い期間の中でみなさん一生懸命取り組みました。たった16日の中では教えられることも少ないけれど、アンケート結果からみなさんに造形表現の根幹となる考え方を理解していただけたようであると読み取れ、ほっと胸を撫で下ろしております。ありがとうございます。
31	乳児保育Ⅱ	吉江 幸子	授業の履修、大変お疲れ様でした。アンケート回答率83.3%でした、回答のご協力ありがとうございます。全項目で「とても適切」が100%となったことから、学生が積極的に学んだ結果であると感じています。自由記述では「1年次より厳しくなったと感じる」とのコメントがありました。今後学外実習に出る皆さんが困らないよう指導を強化していることが伝わったようです。今後は、初めての長期実習が始まります。講義・演習・実習を通じた往復の学習が実を結び、前に進みますように努めます。
32	子どもの健康と安全	宮崎 剛可	本授業は全体として良好な評価を得ることができました。学生から寄せられた肯定的な意見を助みにしつつ、指摘された課題については授業設計・教材構成・進め方の見直しを行い、継続的な質の向上を図ります。
33	基礎デザインⅡ	林 春生	前期の基礎デザインⅠより、改善された点とコメントにありましたが、時間配分、図の表現、理解度、熱意にあまりよくないと3%の学生から評価頂きました。反省して、それぞれの項目に対して改善を行います。
34	デザイン概論Ⅱ	堤 英穂子	最初の授業であったため、反省する点は多々ある。機器やソフトの使用については、すべて善処できない理由がある。内容については、全体のバランスを考えると非常に難しく感じている。時間配分についても、レベルによって時間が多すぎと感じていたり、少ないと感じていたり、人によってさまざまである。それぞれの意見をすべてクリアできないが、バランスのよいところを探していきたい。
35	WEBデザインⅡ	山腰 雅樹	作成した資料やレコーディングを行いながらの授業は良い評価をいただけているようですので、今後もアップデートしつつ継続していきます。理解度については学生ごとに大きな差があるように見受けられますので、次年度はより理解を深めながら修得できるように手法で授業内容を刷新していきたいと思っています。また、4年生に関しては3年生から継続して受講されることを想定して応用的なカリキュラムに刷新していきたいと思っています。
36	アニメーションⅡ	梅田 真紀	全ての設問で肯定的な回答をいただきました。ありがとうございます。具体的な意見をいただいた点について、今後改善していきます。今年度は、最後の講義が駆け足になってしまったと感じていました。感想など言い合えた良かった、との意見もありましたので、みなさんの学び振り返る時間を確保したいと思います。また作業量についての感想もありました。タスクが多く大変だったと思いますが、アニメーションのプロセスを学ぶための必要最低限の内容となりますので、シラバスや授業のガイダンスを通して心構えができるようにしていきます。今後も一人一人の進捗状況丁寧にフォローし、多くの学びが得られるよう努めます。
37	キャラクターデザインⅡ	三上 いずみ	本授業はシラバスに示すとおり制作はタイトであり、授業外の自主制作を前提とする設計である。そのうえで、到達度を妥協し下げることなく、各自が計画を立てて取り組み、必要な判断を重なる力を養う場であると捉えている。次回には中間確認の節目をより明確にし、見直しと振り返りの機会を増やすことで、主体的な制作と学びの質をいっそう支えていきたいと考えている。
38	保育内容演習Ⅲ(人間関係)	松下 守邦	学生が保育者として求められる専門性や子どもの「量なな在り方」について考察できるよう、保育所保育指針に関連する動画教材を取り入れて授業設計を行いました。本年度は、保育専攻学生の作成したレポートを通じて保育スキルの向上をめざす学外(中田基昭・横井敏子 2025年)を新たに授業に組み入れました。今後も教材内容を精選し、授業改善に継続的に取り組んでいきたいと考えております。
39	施工管理技術演習Ⅰ	小笠原 健	この講義は、1級建築施工管理技術士学科試験の午前試験対策講座である。毎年、7月に実施される国家試験に向けて、3年次の建築施工および建築生産の講座で修得したスキルを基に施工管理技術演習Ⅰ・Ⅱにて、4年次に受験を予定している本試験のための演習講座となる。今年度は、4年生18名が受験し16名が合格しており、合格率88.9%の驚異的な結果から、北海道新聞にも記事が掲載されている。現受講生も来年度の試験合格を目指しており、順調にスキルアップしている状況にある。受講生による授業改善アンケート結果も例年通り、高評価を得ており、来年度も高合格率を確保できると期待しています。
40	二級建築士演習Ⅳ	佐藤 晋太郎	アンケートへのご協力ありがとうございました。全体として肯定的な評価が多く、授業内容の理解につながっていると受け止めています。いただいた意見を参考に、今後もより分かりやすい授業となるよう改善していきます。
41	一級建築士演習Ⅳ	赤木 良子	概ねポジティブなコメントをいただきました。ありがとうございます。時間の都合上、全ての設問と選択肢について皆さんが完璧に理解するまで考えるという時間は取れませんが、皆さんのどこが間違っていたのかを聞いて、皆さんに納得を話したうえでいいと思います。筆記が多いのですが、本試験を頑張ってください。ありがとうございます。
42	建築法規Ⅳ	佐藤 晋太郎	年輪のよきのなか、以前より声量が落ちたせいで、最近マイクを使うようになり、16回の講義には、毎回、各建築業界の企業担当者を学外講師としてお招きして、建築業界の説明と企業ピーアールならびに就業情報などを提供いただく講義となっています。よって、16社がそれぞれ、1講義を担当して講義を実施する形式となっており、幅広い業界の現状や就職してから業務内容や待遇を在学中に知ることができると、就職からのミスマッチを軽減し、履修学生には、自分に合った企業への就職を促しています。建築業界への就業は、大学三年生の6月から開始され、四年次に進級する前には、多くの学生が内定を取得しており、他学部の学生より半年から1年早く、就業がスタートしています。よって、就業シーズンへの乗り遅れがないようにこの講義の役割は大きいものと思っております。
43	77007の075AVI	小笠原 健	この講義は、建築業界の見識を広げ、早期の就職活動の自己啓発を目的とし、16回の講義には、毎回、各建築業界の企業担当者を学外講師としてお招きして、建築業界の説明と企業ピーアールならびに就業情報などを提供いただく講義となっています。よって、16社がそれぞれ、1講義を担当して講義を実施する形式となっており、幅広い業界の現状や就職してから業務内容や待遇を在学中に知ることができると、就職からのミスマッチを軽減し、履修学生には、自分に合った企業への就職を促しています。建築業界への就業は、大学三年生の6月から開始され、四年次に進級する前には、多くの学生が内定を取得しており、他学部の学生より半年から1年早く、就業がスタートしています。よって、就業シーズンへの乗り遅れがないようにこの講義の役割は大きいものと思っております。

44	経済学概論	河野 善文	(雑談に関するコメントについて) 私自身、雑談をした記憶はありませんが、もしそうとられる話が多かったのであれば、授業終わり時に申し出てもらえと改善の参考になりとても助かります。
45	IT・IT2 科学II	篠原 諒介	授業改善アンケートにご協力ありがとうございます。今回も多くの学生から有難いコメントを頂けたことに感謝しております。今後は、今回の学生からの意見より上を目指し、さらに学生が理解しやすく、次に繋がる講義を行っていきたく思います。
46	財務会計論(再)	石山 安幸	受講学生から高い評価を頂いたことに感謝します。経営学部に入学したからには、最低限、財務諸表の仕組みを理解した上で、読み込める力が必要です。講義では、できる限り、仕組みをわかりやすく説明することを主眼に進めています。ぜひ、この講義で学んだことを、就職活動、そして、社会人になってからも、活用して下さい。
47	基礎統計演習(M)	河野 善文	板書については、計算の途中展開や図が多くなるため、わかりづらい面もあったと思います。ぜひ、授業おわりでも質問してください。また、最後の演習問題は次回の授業のはじめのところで復習・解説をしますので、ぜひ参りにしてください。あと、マイクの不調の点がありました。その場合の対処については今後の検討課題にしたいと思います。
48	基礎統計演習(S)	杉本 大輔	コメントが少ない。凡庸な講義の証拠。反省する。
49	基礎統計演習(D・A)	伊藤 裕康	推測統計を実際に活用している例を例題を通して授業してきましたが、基礎とは思えないくらい難しいとのコメントをいただきました。また、教科書の内容を補足するために口頭で説明していましたが、説明が長いと感じた学生がいたようです。内容をより簡単にすることは容易ですが、高校で学んだ内容と変わらなくなるため、判断が難しいところですが、学生の反応を見ながら、ゆっくり進めることを心がけます。
50	国際経済論	小早川 俊哉	今後もパワーポイント・配布資料等、出来るだけ分かり易い工夫すること、最新の事例・統計を用いた講義を心がけたいと思います。
51	会社法	青山 浩之	会社法は月曜日4講目と金曜日2講目の科目で、履修者92名、平均出席者72.8名(平均出席率79%【前年75%】)という状況で、回答者が55名と回答率59.8%であった。出席不良で採点対象外の学生が12%と出席不良が目立った。シラバスの説明に関する評価では、98%が適切と回答した。授業スキルの評価は、「配布資料、教科書などの教材は適切でした」「理解度を確保しながら授業を進めました」「授業の内容は理解できました」では好評価を受け、授業の全体印象に関する評価では、好評価を得ました。「配布プリントが細すぎずみずから良かった。」「プリントが配られていたのが復習ができた」「授業は内容が分かりやすく、具体例も多かった点良かったと思います」「法律関係ということもあって難しい授業でしたが学生が理解できるようにプリントも工夫がされていた」と評価されました。これからもシラバスの説明を徹底し、興味と関心を持ってより工夫していきたいです。
52	IT・IT2 医学	黒川 泰任	つい最近まで、運動すなわち身体を動かすとは「動物の単なる必然行為」と「自然現象」と考えられてきました。しかし、われわれの行う運動には、極めて正確で高い目標があることに気が付きます。すなわち、われわれが動けることは、宇宙の真理ほどに高度で、複雑な機能が関与しており、その仕組みを「科学」すなわち「帰納」と「演繹」から知って理解していくこと、これこそがわれわれが科学とよぶ所以なのです。大学で気付いた「未知」、「無知」を、「既知」、「知識」へ結びつけていくことがわれわれの「生」の一つの意義なのです。皆さんの興味と知への行為を期待、激励いたします。
53	管理会計論	岩立 朝一郎	難しい講義内容であると初回に示したものの、多くの受講生が主体的にわからないことを克服しようとする意欲的に取り組まれていたと感じています。管理会計という専門性から数字をベースにするため、計算が苦手な人は苦労したことと思います。アンケートの結果の内容を踏まえ、わからないことを確認する時間の確保や資料の見やすさ(紙の配布や資料、PCやスマホでの確認のみとする)等についても検討し、適切に対処したいと考えております。
54	IT・IT2 栄養	湯浅 頼佳	概ね良い評価を頂きましたが100%ではないので100%が満足出来る授業を出来るよう努力致します。
55	eビジ 経済	阿部 樹裕	今年度eビジ 経済の講義が無くなりましたが、本講義は総じて満足度が高く無事完了することができました。次年度、他の講義でも構成の工夫をしながら学生の理解をより一層深めていきたいと思っています。
56	倫理学概論	尾崎 有紀	アンケート結果などを総合すると、倫理学という、学生にとって必ずしも容易ではない学問分野への入門として、本講義は一定の役割を果たすことができたものと考えています。講義は、事前に配布したスライド資料を基礎としつつ、適宜板書や質疑応答を交えて進めた。板書の内容が理解しづらいと感じた学生もいたようである。この点については、板書自体の分かりやすさに加え、講義内容の理解との関係も含めて検討が必要であると考えている。今後の改善策としては、講義中の質疑応答や学生への発問の機会を増やし、理解度をその都度確認しながら、より学生の理解状況に即した速度で講義を進めていくことが考えられる。
57	IT・IT2 方法論	伊藤 博	真摯に講義を受講して下さった学生の皆様により感謝申し上げます。授業改善アンケートの回答は、内容を吟味し、今後の講義に充分反映させていく所存です。コーチング方法論の講義は、様々なコミュニケーションの場面で大いに活用できる内容であると思います。今後の学生生活や競技活動及び社会生活で活かせることを望んで頂けると幸いです。今後の皆様のご活躍をご活躍を祈ります。頑張ってください!!
58	財務分析論	石山 安幸	受講学生から高い評価を頂いたことに感謝します。経営学部に入学したからには、最低限、財務諸表の仕組みを理解した上で、読み込める力が必要です。講義では、できる限り、仕組みをわかりやすく説明することを主眼に進めています。ぜひ、この講義で学んだことを、就職活動、そして、社会人になってからも、活用して下さい。
59	eビジ 経済II	信濃・河野	今回、英語学習者用テキストを使用しましたが、難しい部分もあったかと思いますが、今後のビジネスのグローバル化の進展を考えると、カタカナ英語もふくめて基礎的な専門用語の英語表現が今後ますます重要な知識になると思います。これを機会にこれらもぜひビジネスの英語表現に挑戦してください。
60	教育行政学	木村 浩紀	前時の復習も兼ねて前回のテーマについて皆さんの意見を紹介してきましたが、欠席した方も効果があったようで良かったです。学校のことだけでなく、法律や予算、歴史など、幅広く学んできましたが、多くの方に理解していただけたようです。資料だけでは見えない部分も解説してきましたが、興味を持ってくれた方もいたようですので、今後も丁寧に説明したいと思います。
61	教育課程論	西崎 毅	評価項目のうち、「充分満足した」「そう思う」以上の肯定的評価を得た割合は「シラバス等の説明」100%【話し方】100%【時間配分】100%【字や図の適切さ】100%【教材の適切さ】100%【熱意】100%【授業内容】100%【理解度の確認】100%【理解】100%【体系的満足度】100%となりました。「グループワーク」があり、主体的に考えて取り組むことの多い授業だったことで理解を深めながら取り組むことができました。「「唐替えのベースと意見交換の感じがちょうどよくて、良かった。」「課題の30単語強は課題がよく分からなかった。他の課題はよかった。」「一部の教育法規について小テストを行ってくれたため、法条の序列がわかり、内容とある程度定着するようになったこと。」「一気に教えるのではなく、段階的にならして教えてくれるので、内訳が理解しやすかったです。」「教育課程について、どういう方針でどういう関係性があるかや実際に教員立場となった時を想定した課題への取り組みがものすごく今後の自分のためになったし楽しかった。」「本気で教員を目指すそうと確信できたきっかけの授業になった。」「金曜日の5.6は満足度が高く、非常にわかりやすかったです。」「学び方、学びせ方を授業を通して勉強することができました。」「グループワークが多くて交流したり、他の人の意見を聞いて考え方が変わったりははきりやりましたので、関わりが増えて楽しかったです。」「アクティブラーニングが楽しかった。」「教員になるうえで必要なことを教わった。』等の評価を励みに一層の改善に努めます。
62	道德教育の指導法(2年)	佐藤 雅一	模擬授業に多くの時間を割く構成にすると道德教育の指導法そのものを十分に学ぶ機会が減り、結果として「授業スキルの向上」に偏ってしまう可能性が多かったと思います。講義の前半で道德教育の指導法についてしっかり扱っていただけたら、学生にとってよりバランスの取れた学びになると感じました。
63	特別な教育的ニーズの理解とその支援	藤原・木村	受講した学生の皆さんから高い評価をいただきました。講師が複数のオムニバスの授業ですが、今後とも、話しだけでなく画像や演習的な要素を盛り込むなどして、学生にわかりやすい授業に努めてまいりたいと思います。
64	総合的な学習の時間の指導法(3年)	西崎 毅	評価項目のうち、「充分満足した」「そう思う」以上の肯定的評価を得た割合は「シラバス等の説明」100%【話し方】100%【時間配分】100%【教材の適切さ】100%【熱意】100%【授業内容】100%【理解度の確認】100%、【興味関心】100%【理解度の確認】100%【理解度】100%【体系的満足度】100%となりました。「全体的にはスライドも見やすく作られていましたし、説明も明確でポイントが伝えられているので理解しやすく、良い授業づくりをしていると感じられました。」「授業の準備を心掛けていたようで、聞いていて気持ちが良いです。」「西崎先生の講義は今回で最後となります。今回の総合的な学習の時間の講義では横断的・総合的な学習と探究的な学習の大切さについて深く学びました。」「上記の内容をしっかり取り入れた授業を私が教員になった際に行えば、言語能力(語彙力、読解力、表現力)と情報活用能力と主体性が身につく上で必要な力が育つと私も思います。」「このようなことを大学生のうちに学べること、とても感謝しています。」「是非、これからの後輩たちにも西崎先生が伝えたいことを今までの授業スタイルで教えていってください。」「総合的な学習の時間について学びつつ、教育法も学ぶことができました。』等の評価を励みに一層の授業改善に努めます。
65	総合的な学習の時間の指導法(2年)	西崎 毅	評価項目のうち、「充分満足した」「そう思う」以上の肯定的評価を得た割合は「シラバス等の説明」96%【話し方】100%【時間配分】100%【教材の適切さ】100%【熱意】100%、【興味関心】96%【理解度の確認】100%【理解度】100%【体系的満足度】100%となりました。「パワーポイントに於いて今授業で何をやっているのかを把握しやすいようになっている。重要な場所についてジェスチャーや棒で示して表現されて分かりやすくなった。」「グループワークを行うことで他の意見を聞くことができてとても良かった。」「総合的な学習の時間というのは、どういうことを目的として行っているものなのかそれとしっかり理解することができました。」「スライドの文字で自分の考えを表現し、意見交換をしたことで他人の意見も深く考えることができました。」「全体やグループでの意見交換の時間などたくさんあり考えを深めることができたので良かったです。」「考えたことが多く楽しい授業でした。」「自分で考えてやるということがとても楽しい授業でした。」「平等に発言することができる。」「しっかりと、アクティブラーニングなど現代における模範のような講義でより内容が深まった。』等の評価を励みに一層の授業改善に努めます。
66	介護等体験指導	堀川・木村	悪い評価項目がなかったで、引き続き、配布資料等の整理と内容の精選を行い、わかりやすさを向上させていく。

<後期>

No.	講義名	氏名	教員コメント
67	情報基礎演習II (M-A)	由水・黒田・佐藤雅	アンケートの回答ありがとうございます。オンデマンドは初めての試みでしたが、好評良かったです。これからも、分かりやすい授業を目指して精進します。
68	情報基礎演習II (S)	宮崎・黒田	アンケートの回答ありがとうございます。オンデマンドは初めての試みでしたが、好評良かったです。これからも、分かりやすい授業を目指して精進します。
69	情報基礎演習II (D)	黒田・佐藤雅	アンケートの回答ありがとうございます。オンデマンドは初めての試みでしたが、思っていたより好評良かったです。分かりやすかったという意見もあったので、これからも分かりやすい授業を目指して精進します。
70	情報基礎演習II (A)	黒田・佐藤雅・伊藤	アンケートの回答ありがとうございます。授業の速度を落としてほしいという意見がありましたが、内容の関係上これ以上遅くすると間に合わなくなる場面もあるため全ては対応できません。出来る範囲でゆっくり進めるように工夫していきます。
71	情報基礎演習II (M-B)	由水・黒田・佐藤雅	アンケートの回答ありがとうございます。オンデマンドは初めての試みでしたが、好評良かったです。これからも、分かりやすい授業を目指して精進します。
72	情報基礎演習II (M-C)	由水・黒田・佐藤雅	アンケートの回答ありがとうございます。オンデマンドは初めての試みでしたが、好評良かったです。これからも、分かりやすい授業を目指して精進します。
73	IT・IT2 応用ITプログラム	黒田・近澤	本授業の目的であるデータExcelでの活用やPBLを通じたスキル習得に対し、多くの学生が手応えを感じており、高い満足度が得られました。特に実践的なプロセスは、強い動機づけに繋がったと評価しています。今後は、Excel等の操作習熟度の差による「取り残され感」への配慮に留意し、操作手順の動画を共有するなど、ICTスキルの個人差を埋める工夫を凝らし、学生がより議論や分析の本質に集中できる環境を整えたいと考えています。
74	平面構成II	北嶋 洋一	デザインにおける平面構成の重要性を伝えることには、ほぼ成功したような実感を持っているが、各課題の制作期間について、意見が分かれているようである。これは授業の満足度には比例しない事柄だが、制作期間が短いことで課題内容を増やしたいと思われる。早めに提出した学生を対象とした追加課題などを考えてみる必要があるかもしれないと感じた。
75	IT・IT2 (A)	山本 真紀	デッサンは、ものづくりの土台です。よく観察し、手を動かしながら考え続けることが力になります。手書きは一気には伸びませんが、積み重ねは確実に結果になります。迷った時間も無駄ではなく、見る力を育てています。これらも制作環境を整え、技術向上を支えています。
76	IT・IT2 (B)	山本 真紀	デッサンは、ものづくりの土台です。よく観察し、手を動かしながら考え続けることが力になります。手書きは一気には伸びませんが、積み重ねは確実に結果になります。迷った時間も無駄ではなく、見る力を育てています。これらも制作環境を整え、技術向上を支えています。
77	IT・IT2 (V)	西田 陽二	今年度の学生は熱心に授業を受け、その成果が学生それぞれに反映されたと思います。
78	建築設計製図II	佐々木哲・向井	建築物の工法ごとに説明し、図面の書き方等の意味を解説しながら製図の作業に取り組んでいく方法を取っている。そのため、学生の理解度を確保しながら展開をしているので時間の配分が毎年難しい。しかし今年度は学生の理解度が高く、アンケート結果も概ね満足できる結果であった。学生の意見も「短時間でも綺麗に書く技術が身についた」「楽しかった」「1年生の前期に比べてスピードとか綺麗さとかが良くなって良かったと思う。この調子で成長していきたい」と前向きな意見が多かった。一方「製図の参考用のプリントが学んで見たいという意見が0名」との意見もあり見直していきたい。
79	IT・IT2 演習 (M) (再)	河田 一郎	今回のスタートアップ演習の再履修は採点対象が1名で、アンケートに回答してくれた学生さんが0名という状況でした。再履修は毎回人数が少ないので、個別指導ができ、学生さんたちもゆったりとレポート作成に取り組めます。今後も個々の学生さんに合った方法で指導をしていきたいと思っています。
80	特別支援教育実習(事後指導)	木村・千葉	後期は模擬授業を中心に指導が、実習に行く前に模擬授業と実習後にもう一度実習校で行った研究授業をさせた。実習前は現場のイメージがないため指導案作成とその通りに授業進行をすることに追われていたが、実習後では生徒への配慮や授業で何を教えたのかに踏み込んだ授業になっており、教育実習は大学では教えない大きな成果があった。実習校の先生方には感謝しかない。
81	保育実践演習	吉江 幸子	保育士養成課程後期の必修科目だった、履修大変お疲れ様でした。アンケート回収率90%、ご協力ありがとうございます。どのアンケート項目も、「とても適切」89%「適切」11%と言う結果でした。卒業後、資格を活かす、活かさないにかかわらず知識として「保育士の専門性」が伝わっていたであろうと推測します。保育の仕事は、人の目には結果が見えにくく、子どもと遊んでいる(遊ばせている)職業と捉えられがちですが、そのような目に見えにくい仕事だからこそ、社会から評価されるために何を、どうするかという思考力、判断力、表現力が必要ですが。社会に出て、その専門性を認められる存在になることを祈念しております。4年間、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。
82	立体構成II	梅田 力	授業評価では概ね満足いただいた(大変満足53%、十分満足33%、満足14%)自由記述より、様々な素材を使った課題が楽しかったとの回答が複数あった。また、プレゼン発表時に「教員から答えの出てくことへの意地悪な質問が時折あった」(例：画面は作画と原作どちらが大切か)との回答があったが、簡単に答えの出ない問題を、みんなで考えていくのが、大学ならではの学びだと私は思います。

124	保健体育科教育法Ⅲ	高井 雅一	概ね良い評価をいただいています、更に授業内容を精査して、多くの受講学生が満足できるように改善していきたい。
125	保健体育科教育法Ⅳ	高井 雅一	概ね良い評価をいただきましたが、模擬授業を含め、学生の自主性を多く組み込みながら進めていきたい。

<通年>

No.	講義名	氏名	設問01
126	キャリア支援演習Ⅲ (M)	井坂・石山	「就活に関して参考になりました」と学生コメントがあったように、様々な企業の方の講演等を聞くことで、授業の満足度、授業の理解度共に学生からは高い評価を得ることが出来ました。一方で、「就活の基本的な話が多く、役立つことが少なかった。」とコメントがあるように、就活に関して十分な準備が進んでいる学生には基礎的な話を何度も繰り返されるのは物足りない部分があったように思います。また、興味の無い講演等では学生の集中力が落ちていたため、ワークシート等を用いて集中力を高める工夫が必要であると考えました。
127	キャリア支援演習Ⅲ (S)	後藤 啓倫	受講生の皆様、1年にわたる授業お疲れ様でした。アンケートにご協力いただきありがとうございます。今後も学生が参加しやすい授業作りや、キャリア形成に役立つ内容の充実に努めていきたいと思っています。これからの就活で不安などあれば、いつでもキャリア支援センターにご相談ください。
128	キャリア支援演習Ⅲ (D)	竹内 美帆	今回の授業改善アンケートでは、授業の進行や説明の分かりやすさ、理解度に関して概ね良好な評価を得ることができました。本科目は、学生のキャリア形成を多角的に支援することを目的として、企業や経営者など多様な方々が講師となり実施されています。自由記述では、SPI対策の時期や就職活動に関する情報提示のタイミング、出席確認やネットワーク環境に関する改善要望などが挙げられており、今後は担当教員間で共有しながら、より円滑な授業運営につなげていきたいと考えています。特に出席確認については、不正が行われないう、充分に対策をおこなう必要があると考えています。
129	キャリア支援演習Ⅲ (A)	伊藤 裕康	就活が始まっている建築3年生にとって、履歴書の書き方、企業研究の進め方など、これからの就職活動を進める上で大事な内容が詰まった授業だったと思います。講師の方々も理解しやすいように動画やバワボ等を多く使ってくれていましたが、大講堂だと集中しづらい場合もあると思います。ときどき学科別授業も実施しましたが、もう少し学科別に分かれる授業方法も検討したいと思っています。
130	保育実習指導Ⅰ	湯浅・吉江	保育実習指導Ⅰの履修、お疲れ様でした。担当教員2名で進めた授業でした。アンケート回収率72.7%、すべての項目で「とても適切」が62%、「適切」38%と言う結果でした。通年の科目で実習の事前・事後にわたって学修しました。提出物の締切り等求める内容も多岐にわたりましたが、2回の実習を中心にその前後で、準備・振り返りを実施できたのではないかと思います。翌年の実習につながる学びを今後も期待しています。
131	特別支援教育実習(事前指導)(3年)	藤根・堀川	評価全体が良好であり、引き続き、わかりやすく授業の模擬体験ができるように工夫していく。
132	保育実習指導Ⅱ	吉江 幸子	保育実習指導の履修、大変お疲れ様でした。アンケート回収66.8%でした。アンケートの全項目で「とても適切」が100%となりました。履修者6名で人数が少ないが、個別対応や集団で学外へでることも実践しやすかったように感じています。実習時期により、じっくりと事前準備ができた学生と、慌ただしく実習に出た学生がおり、実習評価にも影響を与えたように感じた部分は反省点です。今後も学生、実習現場との調整を図りながら進めます。4年間、大変お疲れ様でした、ありがとうございました。
133	保育実習指導Ⅲ	湯浅 頼佳	今回は学生が回答していないので次回からその点から改めるよう働きかけるように致します。